

題材あらすじ (英語コミュニケーション I)

● Lesson 1

Friendships in the Digital Age



[学校生活]

本文語数：337語

このデジタル時代においては、ソーシャルメディアも友だち作りのための有効な手段のひとつだ。しかし、オンライン上のコミュニケーションは対面のものよりも繊細で、難しい一面もある。ともすれば悲しい思いをすることもある。ソーシャルメディアでの友だち作りのよい面と悪い面について考える。

● Lesson 2

Expos: Past, Present, and Future



[科学・社会]

[SDGs 8, 9, 11, 17]

本文語数：373語

1851年の初めての開催以来、万博は人類にさまざまな恩恵をもたらしてきた。過去の万博における日本の関わりを振り返り、万博を開催することでもたらされる効果について学ぶ。また、世界の発展とともに変化してきている万博の焦点と、これからの万博の果たす役割について考える。

● Lesson 3

The Fascinating World of a Professional Storyteller



[異文化理解]

本文語数：580語

日本の伝統話芸である講談の世界で活躍するアメリカ人女性、旭堂南春へのインタビュー。彼女が講談と出会いプロの講談師になるまでの経緯、講談の面白さやその魅力、英語話者として講談を演じる上での苦労などについて学ぶ。また、南春から高校生へのメッセージも紹介。

● Lesson 4

Changing Behavior in Unique Ways



[社会・公共]

[SDGs 3, 11, 13]

本文語数：563語

人々の行動を変えたいときによく用いられるのは注意書きだが、効果が出ないことも多い。そこで役立つのが「仕掛け」で、これは人々の行動を自発的によい方向に変えるためのアプローチだ。ユニークな仕掛けの事例を数多く紹介する。また、社会問題を柔軟に解決するためのソーシャルデザインについても学ぶ。

● Lesson 5

A Journey to Peace



[教育・平和]

[SDGs 1, 4, 10, 16]

本文語数：604語

ルワンダ出身のマリールイズ・カンベンガは縁あって日本に留学し、日本の教育制度のすばらしさに感銘を受ける。帰国後、突如起こった内戦と大虐殺を生き延びた彼女は、教育こそが平和へのカギだと実感する。ルイズの激動の人生を通して、平和の尊さや教育の果たす役割について考える。

● Lesson 6

Humans Evolve with Measurements



[歴史・文化]

[SDGs 9]

本文語数：548語

長さを測る単位、重さを量る単位、速さを計る単位など、私たちの身の回りには何かをはかるための単位があふれている。「はかる」という行為を通して、人類は発展し続けてきた。さまざまな単位がどのようにして生まれたか、どう発展を遂げてきたか、どのように単位の統一が図られたかについてひも解く。

● Lesson 7

Bio-logging: Discovering Animals' Secrets



[動物・科学]

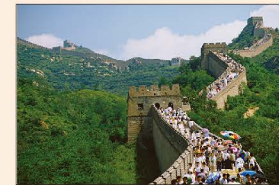
[SDGs 14, 15]

本文語数：601語

野生動物に「データロガー」と呼ばれる記録装置を装着して、その生態を観察する新しい研究手法を「バイオリギング」という。ウェッデルアザラシ、チーター、ペンギンのバイオリギングの事例を取り上げ、データを分析することによって明らかになった、動物たちの秘密について紹介する。

● Lesson 8

What to Do with Too Many Tourists



[環境・生活]

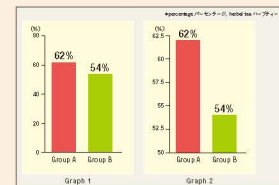
[SDGs 6, 8, 11, 15]

本文語数：584語

騒音、渋滞、ごみのポイ捨てなど、観光客が多すぎると現地ではさまざまな問題が引き起こされる。世界と日本の事例を通して、「オーバーツーリズム」によって観光地に発生するさまざまな弊害について学ぶ。また、その解決策と、観光業と地元住民の生活のバランスについて考える。

● Lesson 9

Surviving in the Information Age



[情報・社会]

本文語数：577語

インターネットが生活の一部となり、ソーシャルメディアが普及した現代は、フェイクニュースや不適切な使い方をされた統計データなど、誤った情報が一気に拡散されやすい。玉石混交の膨大な情報の中から真実にたどり着くために、私たちはどのようなことに気をつければよいかを学ぶ。

● Lesson 10

The Spirit of Zen: Less Is More



[日本文化]

[SDGs 11]

本文語数：590語

日本の仏教の流派の一つである「禅」は、日本人のみならず、スティーブ・ジョブズを含む世界のリーダーたちからも関心を集めてきた。禅の精神とは何か、禅の修行はどのようなものでその目的は何か、そして禅が日本文化に与えてきた影響にはどのようなものがあるのかについて学ぶ。

● Optional Lesson 1 : Reading

Swans Mate for Life



[物語]

本文語数：1259語

大学生のブルースは農場を営む祖父のもとで夏休みを過ごすことになる。ある日、祖父と池を訪れると、白鳥のつがいのうち1羽が死んでいた。それはかつて祖父が祖母に贈った白鳥だった。新たにもう1羽を買うというブルースの提案に対する祖父の回答とは…。ブルースの、忘れられない夏の思い出。

● Optional Lesson 2 : Reading & Listening

Tracking Santa Around the World



[英語講談]

Reading 語数：364語

シャープ大佐はNORAD (北米航空宇宙防衛司令部) で働いている。彼の机上には最高機密電話があり、これが鳴ることはアメリカに戦争が迫っていることを意味する。ある日突然、その電話が鳴り出した！電話をかけてきたのは小さな女の子で…。広告の間違ひから始まった、心温まるストーリー。

題材あらすじ (英語コミュニケーションⅡ)

● Lesson 1

Leadership in Modern Times



[社会・人生]
[SDGs 10]
本文語数：576語

かつて「リーダー」といえば、強くて周りを導く人のことを指していた。しかし、現代社会においてリーダーの役割は変わってきている。現代に求められるリーダー像とはどのようなものか、リーダーシップの技能をどのように磨くことができるか、また、AIがより普及した将来、新しいリーダーシップがどのように役立つかを考える。

● Lesson 2

The Diversity of Traditional Houses



[地理・文化]
[SDGs 11]
本文語数：561語

世界にはさまざまな伝統的な家屋があり、その建築材料や家屋の形は場所によってバラエティに富んでいる。日本の木造家屋、地中海の白壁の街並み、モンゴルの移動式住居ゲルなどを例に紹介する。また、それぞれの家屋がどのような理由からその形になったのか、その役割について考える。

● Lesson 3

Improving Society with Avatar Robots



[福祉・科学]
[SDGs 3, 4, 9, 10]
本文語数：615語

吉藤健太郎は、学校に行けず寂しい思いをした幼少期の経験から、社会の「孤独」を解消するようなロボットを作り出すことを決意した。彼が生み出した「分身ロボット」とはどのようなものか、また実際に社会でどのように活用されているかを学ぶ。また、孤独を解消するために大切なものを考える。

● Lesson 4

Approaches to Food Waste



[環境・社会]
[SDGs 2, 3, 12]
本文語数：617語

世界では9人に1人が飢餓に苦しんでいると言われていいる。しかし、日本における食品ロスは、国民全員が毎日お茶碗1杯分の食料を捨てているのと同じ量であるという。食品ロスの現状についてプレゼンテーション形式で学び、無駄な廃棄を減らすために私たちが日常的にできる取り組みについて考える。

● Lesson 5

Animals as Indispensable Partners



[動物・福祉]
[SDGs 3, 10]
本文語数：600語

動物とのふれあいは私たちの健康によい影響を与える。近年では、身体障がい者を支える動物だけでなく、人々を精神的に癒す動物も注目を集めている。医療現場や、さらには更生施設で活躍する動物たちの事例を取り上げ、私たちのよりよい暮らしと社会をサポートしてくれる動物たちについて学ぶ。

● Lesson 6

An Irish Poet on a Mission



[言語・文学]
本文語数：640語

アイルランド出身の詩人ピーター・マクミランは、日本文学に興味を持ち、百人一首を英訳したいと思うようになった。英訳を進めるうちに気づいたアイルランド文学との共通点や日本独自の美学、彼が直面した課題について紹介する。また、彼の活動を通して、日本文学の魅力について改めて考える。

● Lesson 7

Be Free from Gender Bias



[社会・人権]
[SDGs 4, 5, 8, 10]
本文語数：635語

娘には人形を与えてバレエを習わせる。息子にはおもちゃの車を与えて野球チームに入らせる。日常生活でよく見かける光景だが、そこにはジェンダーバイアスがひそんでいるかもしれない。身近にあふれる男性／女性への偏見について考え、それをなくそうとする取り組みについて学ぶ。

● Lesson 8

The Diminutive Giant Who Fought for Refugees



[国際・平和]
[SDGs 2, 3, 4, 16]
本文語数：649語

2019年10月、緒方貞子の死が世界中で報じられた。彼女はアジア人初・女性初の国連難民高等弁務官として、各紛争地に赴き、難民保護に尽力した。世界から「小さな巨人」と称賛された緒方貞子の功績とはどのようなものだろうか。また、彼女の信念から、人道支援のあり方について考える。

● Lesson 9

Tackling Global Warming



[環境・科学]
[SDGs 13]
本文語数：690語

人類は温室効果ガス排出の削減を試みているが、望ましい効果は出ていない。そこで、地球の気候を人工的にコントロールする「ジオエンジニアリング」という新しい技術が開発されている。ジオエンジニアリングの具体的な事例やその利点・欠点について学び、未来の地球のためにできることを考える。

● Lesson 10

Keys to Finding Happiness



[人生・心理]
本文語数：664語

人はみな幸せになりたいと願っている。幸せを感じやすい人とそうでない人にはどのような違いがあるのか、事例を紹介する。また、お金の使い方や人間関係の視点から、幸せを感じることでできるコツは何かを学ぶ。そして自分に合った幸せを切り開く方法とはどのようなものかを考える。

● Optional Lesson 1 : Reading

The Good, the Bad and the Emmy



[物語]
本文語数：1215語

失敗が原因でやる気をなくし、自信を失う人がいる一方で、次は成功しようとより奮起する人もいる。ある演劇学部の学生は、自分の書いた劇がヒット作となることを確信していたが、その公演結果は散々なものだった。苦い思いをした青年がエミー賞を受賞するにいたるまでのストーリー。

● Optional Lesson 2 : Reading

The Tales of Ise



[古典文学]
本文語数：780語

『伊勢物語』は平安時代に書かれた歌物語で、最も有名な日本文学の1つである。その中から2つのエピソードをピーター・マクミランによる英訳で読む。古典の授業でもなじみのあるエピソードを改めて英語で読むことで、彼が世界に広めようとしている日本文学の美しさを鑑賞する。